

令和7年度 徳島県精神保健福祉審議会 議事概要

I 日 時 令和8年3月26日(木) 午後6時から午後7時15分まで

II 場 所 Web会議

III 出席者 【委員11名】(敬称略、50音順)
糸林 剛志、枝川 浩二、岡久 玲子、櫻木 章司、
田岡 雅世、谷口 英一、谷崎 和子、沼田 周助、
本間 尚、益田 暁子、横山 敦子

【事務局】
健康寿命推進課

IV 会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 第8次徳島県保健医療計画(精神疾患)の進捗状況について
- (2) 新たな地域医療構想と地域精神医療について
- (3) 障害福祉計画の基本指針の見直しについて
- (4) 入院者訪問支援事業の進捗状況及びDPAT体制について
- (5) その他
精神科病院における虐待通報の義務化について
徳島県失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について
高次脳機能障害者支援法について

3 閉会

議事(1) 第8次徳島県保健医療計画（精神疾患）の進捗状況について

- | | |
|-------|--|
| 【事務局】 | 議事(1) 第8次徳島県保健医療計画（精神疾患）の進捗状況について、資料1-1及び1-2により説明 |
| 【委員】 | アウトプットやアウトカムは、全国的に同じように設定しているということで、目標値は違うけれど、項目はほぼ同じということでよろしいか。 |
| 【事務局】 | 見解のとおり。厚生労働省が定めた基本方針に即して、かつ地域の実情に応じて指標を定めている。 |
| 【委員】 | 入院医療中心から地域生活中心へといった目標で、順調に達成しつつあると思う。過去、徳島県の平均在院日数は突出して全国1位だったが、だんだん順位が下がってきて、令和6年は全国8位。西日本が長い傾向があるとは常に言われているが、医療計画だけではなく、障害福祉計画でも地域生活への移行ということで、色んな政策が打たれている。それらが順調に進んでいるのではないかと思う。 |

議事(2) 新たな地域医療構想と地域精神医療について

(3) 障害福祉計画の基本指針の見直しについて

- | | |
|------|---|
| 【委員】 | 議事(2) 新たな地域医療構想と地域精神医療について、議事(3) 障害福祉計画の基本指針の見直しについて、資料2~3により説明。 |
| 【委員】 | 今後、介護職員や訪問看護師等の不足が考えられる中、具体的な対策があれば伺いたい。 |
| 【委員】 | 医療、介護、在宅での訪問看護や障害福祉サービス、それぞれが計画を立てていくと、マンパワーが回っていかない。例えば、医療と介護が連携をして、この部分は医療、ここから先は介護をやっていくという様な形で計画を立てることができれば、限られたマンパワーの中で効率的に地域でのケアが |

可能になる。今後、地域医療構想を策定する過程で、そのあたりの具体的な姿が明らかになってくるのではないかと思う。

- 議事(4) 入院者訪問支援事業の進捗状況及びDPA T体制について
(5) その他

【事務局】 議事(4) 入院者訪問支援事業の進捗状況及びDPA T体制について、(5)その他、資料4~5により説明。

意見なし。